

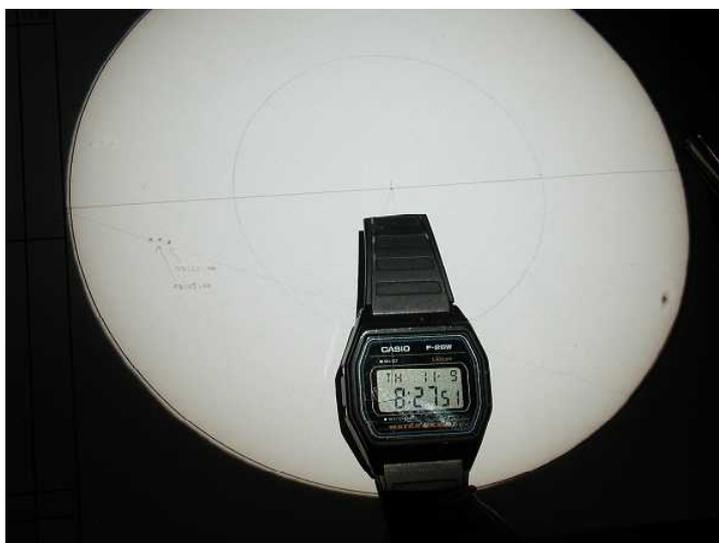
水星日面通過

水星の日面通過が、日本時間で11月9日の早朝に見られた。全経過が見られたのはハワイあたりの太平洋地域で、日本では日の出時には既に深く進んでいて、現象の後半が観測出来た。



関東南部の藤沢では、当日は快晴に恵まれて、冠雪の富士山は朝日を浴びて、うす紅色にきれいだった。

黒点観測と同様に投影板の上の太陽像を撮影することとして、観測用紙には5分毎の位置を記録する事とした。高度が少し上がって来た頃から望遠鏡の視野に入り始め、08:20(JST)から観測開始とした。



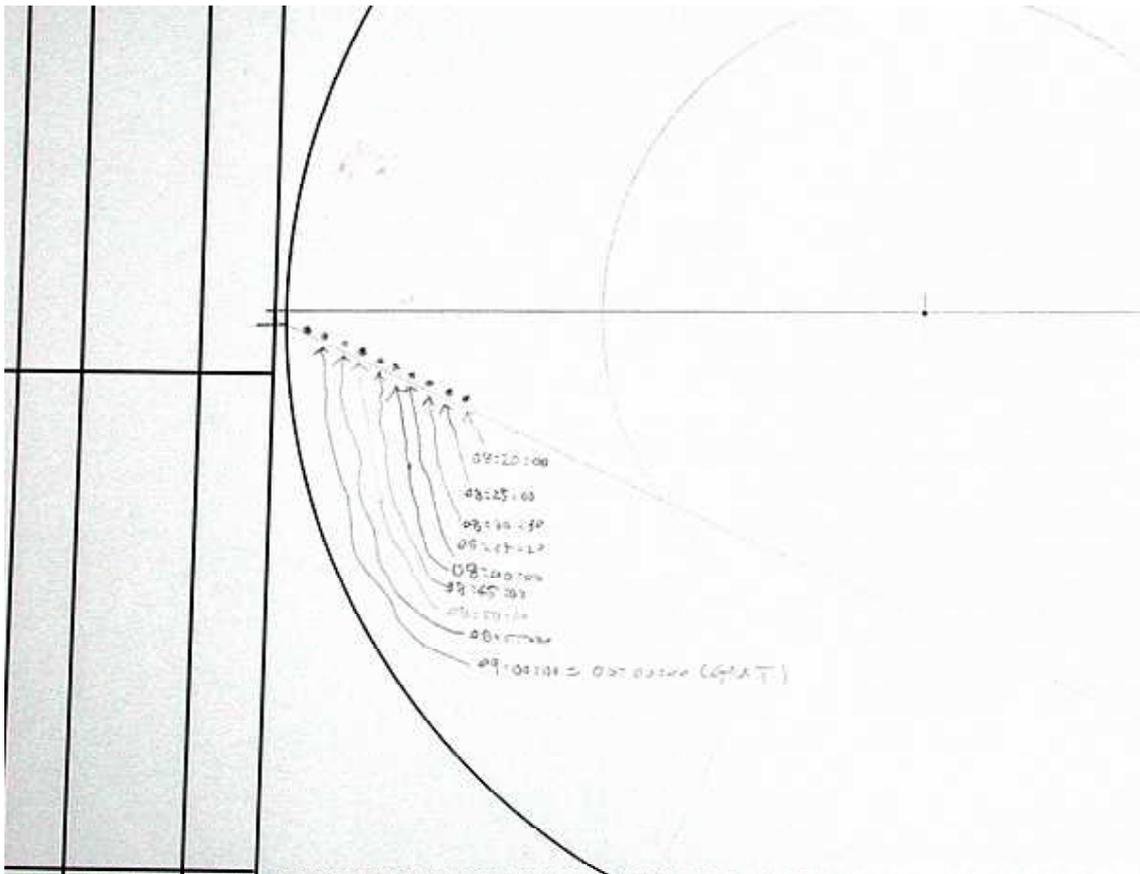
観測開始後の太陽面、既に2回位置をプロットしてある。
太陽面は黒点活動極少期で、黒点は少ないが、右端に久しぶりの中型の黒点群が出現してきている。本影部は水星像より大きい。



第3接触の頃の水星像。シーイングは悪く、ブラック・ドロップ現象は判らなかった。



当地では、09:10(JST)すぎには、第4接触となって、現象は終了した。



観測用紙上の水星像の記録

7 May 2003以来、3年半ぶりの現象だった。 次回は26年後の、13 Nov 2032 の夕方に日本で見られる。